



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために
RI会長 シェカール・メータ

2021-2022年度



Rotary District 2640 Japan

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 魚谷 幸司 幹事 宇恵 久視 SAA 楠部 均

第 2092 回例会

2022年4月11日(月)

12:30～ 職場見学
株式会社サンコー

り組んでいます。今日は時間の限り、弊社の理念や
商品について見学して行っていただきたいと思います。

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング

「我等の生業」

3. 出席報告

会員総数 41名 出席者数 24名

出席義務規定適用免除会員 1名

出席率 61.54% 前回修正出席率 76.92%



4. 会長スピーチ

会長 魚谷 幸司 君

皆様、こんにちは。本日は、
職業奉仕委員会が計画した職
場見学例会です。会員企業の株
式会社サンコー様にお世話に
なります。会員であり、同社の
代表取締役の角谷さんには、お
忙しいなか、お引き受けくださ
いまして本当に有難うござい
ます。



株式会社サンコーは私たちのクラブの大先輩で
当クラブのチャーターメンバーで、残念なことにお
亡くなりになりました角谷 将司氏が創業した家庭
用品の会社です。「人の心に貯金する」など多くの
教訓を教えてくださいました。

本日、ご出席の皆さん。しっかり学んでいって
ください。



5. 幹事報告

幹事 宇恵 久視 君

今回は特にありません。

6. 職場見学

角谷 太基 君

本日は弊社、株式会社サンコー
へようこそおいでいただきました。
日頃、ロータリークラブの皆様
には大変お世話になっており
ます。先般も卓話でお話させて
いただいたとおり、弊社はSDGsに取



4月は「母子の健康月間」です

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002
海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)
TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

<http://www.kainaneast-rc.jp>
E-mail : info@kainaneast-rc.jp

7. 閉会点鐘

【次回例会】

4月18日(月) 12:30～
ロータリー財団補助金管理セミナーの報告
ロータリー財団委員長 田岡 郁敏 君



ニコニコ・BOX

- 岸 友子 君 三女の結婚お祝い、ありがとうございました。昨日4月10日無事挙式でき、親の役目も終了で肩の荷がおりました。
- 小椋 孝一 君 久しぶりの出席です。
- 魚谷 幸司 君 角谷さん 本日は大変お世話になります。よろしくお願いします。
- 宇恵 久視 君 //
- 楠部 均 君 //
- 角谷 太基 君 本日は、企業訪問ありがとうございます。

Rotary NEWS

4月は「母子の健康月間」です

予防可能な原因で母と子どもが命を落とすことなどあってはならないと、私たちロータリー会員は考えます。すべての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして、出産で命を落とす母親がいなくなり、子どもがすくすくと成長できるように、私たちは支援活動を行っています。

ロータリーはこんな活動をしています。教育、予防接種、出産キット、移動クリニックなど、ありとあらゆる方法で母子の健康を推進しています。また、女性を対象に、HIV 母子感染の予防、母乳による授乳、病気の予防に関する教育も行っています。



母子の健康における成果 私たちは、地域社会が自力で母子の健康を守っていけるよう研修 と支援を行うことによって、持続可能なかたちで母子の健康を促進 しています。「母親が強く、健康であれば、その家族も強く健康になり、貧困 と飢餓も和らぎます」 Robert Zinser さん、人口と開発のロータリアン行動グループ共同創設者、BASF 元アジア統括部長。



夢をつなぐ

ジェニファー・ジョーンズ会長エレクトが描く、未来のロータリー

1996年にロータリークラブに入会したジョーンズ。ロータリー強化諮問グループ委員長を務め、ロータリーのブランド強化の取り組みでリーダー的役割を担いました。また、現在は、ポリオ根絶活動のために1億5,000万ドルのファンドレイジングを目指す、「End Polio Now: 歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会」の共同委員長を務めています。2020年には、新型コロナ対応のためのファンドレイジングを目的としたオンラインイベント「テレソン (#RotaryResponds)」を先導。このイベントは6万5,000人以上が視聴しました。



メディア出身であることを強みにしてロータリーの知名度を世界的に上げるとというのが、RI 会長としてまず彼女が目標に掲げていることです。ロータリーの各重点分野における大規模で持続可能なプロジェクトを全世界に紹介して回る「イマジン・インパクト・ツアー」なる旅行を企画しています。「会員増強の手段として考えています。ストーリーを伝えれば、志を同じくする人々が参加してくれますから」ロータリーの公共イメージ向上や、多様性、公平さ、インクルージョンなど課題は沢山あります。

女性だから選ばれたのではなく、会長にふさわしい資格を持っていたから選ばれたという点です。ジェンダーを意識して臨んだわけではありません。これはロータリーにとって大きな一歩だとは思いますが、DEIはロータリーだけでなく、あらゆる社会にとって重要なことです

「人と違うのは間違ったことではない」。多様性はロータリーの中核的価値観の一つで、女性会長というのは多様性を表す一つの形です。ただ、そこに至るまでに117年かかったというだけです。

ロータリー全体で見ると多様性は見られますが、身近な活動の場ではどうでしょう？ クラブに多様性はありますか？ 思考、年齢、文化、ジェンダー、職業に多様性があれば、それが話し合いに表れます。それが、ロータリーの隠し味。他の団体にはできない方法で問題が解決できる秘訣なのです。さまざまな経験が話し合いに活かされて、ロータリーは解決策を見つけます。「多様性は理解していますよ」というクラブは当然あるでしょう。そうかもしれないし、もしかしたらそうではないかもしれない。それでも、今この時点でこのような対話に本腰を入れた団体として、ロータリーは独自の立場にあると思います。ロータリーは政治色も宗教色もなく、お互いを尊重しながら安心して対話の場を提供できるのです。